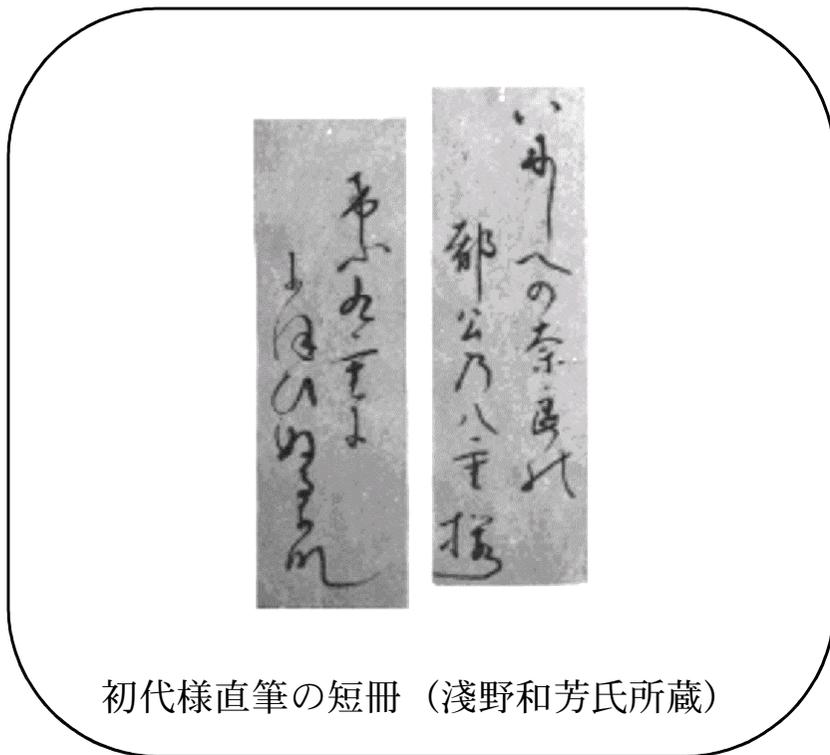


# かさおか

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)  
電話 66-1311  
FAX 66-1314



初代様直筆の短冊（浅野和芳氏所蔵）

をやの思いを にをいかけ、

<sup>うちうち</sup>  
内治に心を配り おたすけに誠の心を尽くそう

1. 一歩前進 百万軒
2. おつとめの徹底とひのきしん
3. 機を逃さず おさづけの取次

# こかん様に 続く会

婦人会笠岡支部女子青年では、去る、6月5日から6日にかけて、中・高生を対象に「こかん様に続く会」を開催しました。

この時期は、何かと行事が多く重なり、子供達も各々の都合をおしての参加となりました。そんな中でも、女子青年12名、委員7名、婦人会6名の参加者がありました。

一日めは、午後5時半より、開講式後、夕づつめ、自己紹介をかねたお楽しみ行事があり、二日めは、支部長様より「おつとめについて」と題し、わかりやすくお話を頂き、その後、小雨まじりの中、にをいがけに皆で出させて頂いて後、クイズ大会やゲーム等をして楽しみました。昼食には、女子青年ご希望の「手巻き寿司」を頂き、皆で後片づけ、そうじをさせて頂いて、最後に神殿にて、三殿礼拝、女子青年愛唱歌「すてきなあなたに」を合唱し、来年、教区単位で開催される女子青年大会に向かって一人でも多くの友を誘って参加し、それが又、二年先の年祭につながっていく様にと願をこめて、閉講しました。

(女子青年部担当者 門脇加津)

## 勇み心にお働き

新山邑分教会 三島 知佳子

六月五日、六日と大教会で「こかん様に続く会」を開催させて頂きました。今回の「こかん様に続く会」は、女子青年にとって今年一番大切な行事だし、私事ですが、委員長として初めての行事ということもあって、気合いが入っていました。しかし、気合いが空回りしてしまって、会員さんにお誘いの声をかけてもいい返事がもらえなかったり、直前で行事の内容も変更になったりでギリギリまで本当にバタバタして、正直不安な気持ちもありました。でもいっしょに準備を進めてきたみんなや、来て下さった会員さんの顔を見たら、いっぱいおつとめさせて頂こう!!と自然と力が湧いてきました。

今回の「こかん様に続く会」で支部長様は私達に本当にわかりやすくお話しして下さいました。おつとめの手ぶりひとつひとつに意味があるという事、おつとめには親神様のいろんな思いが詰まっているという事、私達の心にすんなり入ってききました。

もうひとつ本当にありがたかったのは、六日は朝から小雨が降っていて正直、残念だなあと感じていましたが、支部長様のお話を聞かせて頂いて、

にをいがけに出発する時には雨も止んで晴れ間がのぞいていました。神様に「さあ勇んで行ってらっしゃい!!」と言われてる気がしました。普段女子青年の例会でもにをいがけに行かせて頂いていますが、いつもポストに入れるだけなので今回はがんばって一人にでもいいから手渡ししてみました。とみんなに言いました。みんなにがんばってもらう為には、まずは自分からしないといけないと思い、内心ドキドキしてましたが実際やってみると、みなさん案外すんなり受け取って下さいました。会員のみんなもがんばって手渡ししてくれていました。本当に神様が働いて下さったんだ。と思いました。

一泊二日という短い時間でしたが、いろんな人達に協力して頂いていっしょに作りあげてきた「こかん様に続く会」だったので終わった時には本当に感動しました。いろいろ反省点もありますが、それ以上にうれしかった事や楽しかった事、神様を感じて喜べた事がありました。この感動を一人でも多くの会員さんに伝えられるように、もっともっと内容の充実した楽しい女子青年活動になるように精いっぱいおつとめさせて頂きたいと思えます。

最後にあたたかい親心で私達を見守って下さった支部長様、担当者の奥様方、いっしょに準備をしてきた委員のみんな、そして参加して下さいました会員のみなさん、本当にありがとうございました。

## ああ、もう終わった

久松分教会 中村京子

私は、この笹岡の『こかん様に続く会』には、7・8回目の参加になります。

毎年、委員の方々は、私達仮委員の人に、とても優しく、私達を、楽しませようと、いろいろなゲームも行ってくださいました。

私は、今年の『こかん様に続く会』に1人しか友達を誘えなかったのが、とても残念に思っています。

今年の、おやすみ行事は、2日目にある、にをいがけや、お楽しみ行事の為にチーム分け&自己紹介を、クジで決め、とても楽しかったです。

2日目の、朝が早いのは、何回参加しても、慣れませんでした。

2日目の朝の、支部長様のお話は、毎年、ためになるお話だと思えます。支部長様は、何も分からない私達に、少しでも分かりやすいようにと、お話ししてくださいさるのが、とても優しく感じています。

支部長様のお話の後は、大門町に行き、にをいがけです。1日目



に決めたチームで、1人1枚は、手渡しが出来るように、配らせていただきました。このにをいがけで、すごいと思った事が、一緒のチームの、委員さんでした。1軒1軒、インターホンを押し、家の人と話して、読んでいただけると、全部の家を、手渡ししていた事です。私は、1人の子供に手渡しする事で精一杯でした。

にをいがけから帰ると、さきほどのチームで、チーム対抗クイズをしました。そのゲームでは、私達のチームは、おしくも2位でしたが、とても楽しかったです。

このお楽しみ行事が終わると、待ちに待った、昼食です。今年は、手巻き寿司でした。婦人会の方々が、私達の為に、たくさんのおかずを作ってくださいました。昼食には、支部長様婦人会の皆様と一緒に、楽しくいただきました。

昼食が終わると、今年の『こかん様に続く会』も終わるんだなあと、思います。閉会式が終わると、みんなで集合写真を撮って、解散しました。始まってしまふと、早いので、「ああ、もう終わった」と、毎年しみじみ思います。

来年は、今年あまり誘えなかった分、多くの友達を誘って、参加させていただきますかと思えます。

## 日常生活に活かせるように

神昭分教会 檜崎慶子

私がこかん様に続く会に参加させていただいたのは、今回が2回目でした。

やはり一番心に残っているのは支部長様のお話です。支部長様は私たちに分かりやすく、ていねいに教え聞かせて下さいました。おつとめは親神様の思いと私たちの思いが込められている大切なものだという事。また、天理教信仰を通じての両親の私たち子供にたいする思いなども教えて下さいました。

その中でも印象的だったのは、日常生活で自分の思い通りにならなかったり、勇気が出なかったりと、反省しなければならぬ事がある時に、先のぼしにするのではなくその日のうちに反省し改めることが大切です。心からおつとめをさせていただけば、きっと親神様が私たちの思いにこたえて下さいますよ。と教えて下さった事です。これからおつとめをさせていただく時には、支部長様のお話を思い出してさせていただこうと思えます。

また、今日一日を無事に過ごすことが出来た事を親神様に感謝し、毎日頑張りたいと思えます。次に、にをいがけに行かせていただきました。

初めは緊張していて  
パンフレットを手渡し  
することは出来ませ  
んでした。

でも、婦人会の奥様  
方や、委員さんに手  
伝っていただいたの  
で渡すことが出来る  
ようになりました。少  
し自信がもてて、と  
てもうれしかったです。

私たちが、にをい  
げをさせていただいた  
ことで、教会へ足を  
こんで下さる人が一  
人も多く増えたら  
いいなと思いがら配  
らせていただきました。

にをいげを終えた  
時には、充実感でい  
っぱいでした。

「こかん様に続く会」に参加させて  
いただいて、すごく楽しかったし、  
とても勉強になったと思います。  
支部長様のお話や、にをいげをさ  
せていただいた事を忘れずに、  
これからも通らせていただきた  
いと思  
います。

ありがとうございます。



## 少年会 縦の伝道講習会

少年会笠岡団では6月21日  
に「縦の伝道講習会」を開催  
しました。

講師に少年会本部委員の玉  
置宏俊先生をお迎えし、6月  
祭典講話としてお話くださ  
いました。先生は自らの体験  
の中からもまだ若年のころ  
教会長である父親を亡くし  
たが、母親や信者さんに励  
まされその逆境を強い精神  
力で乗り越えたことが今の  
自分に役立っている、若い  
ときは苦労することが財産  
だ。自分の子供を厳しく  
育てている。と子供の育  
成のポイントを熱く語られ  
ました。また、近づいた「こ  
どもおちばがえり」には大  
勢の少年会員でおちばを賑  
やかにさせていたどうかと  
話をしめくられました。そ  
の後先生を囲んで笠岡団委  
員との懇談の場を設け、「こ  
どもおちばがえり」の各団  
各隊の取り組み、へいぜい  
からの子供への信仰伝道な  
どについて時間を忘れてな  
ごやかにまた、有意義に  
懇談させていただきました。

(笠岡団团长 中島誠治)

# 会 人 婦

## 伏込み

### ひのきしん団参

婦人会では、去る六月二十七日(日)ご本部西境内地拡張整備の土持ひのきしん団参を実施しました。これは、三年毎の支部総会を目標に、その間に一度婦人会員揃っての活動をしようという計画の一環でした。

当日は、正午に西礼拝場に集合してのお願いづとめを勤めた後、引き続いて、ひのきしん現場へ移動しました。梅雨時で、天候が危ぶまれましたが、開始時に小雨がぱらついたものの、その後、回復し、無事に予定通り終了できました。又、当日早朝に出発したバス団参の人々は、西名阪道路の事故の余波で大幅に到着が遅れ、残念ながら揃ってのおつとめには間に合いませんでしたが、土持ひのきしんには合流できてホッとしました。総参加人数487人。

支部長様から「この伏せ込みの心で日々を通り、人助けに励んでいただきたい」との御挨拶がありました。

(婦人会常任委員 上原 順子)

## 心 定 め が 第 一

上下分教会 桑田 千泉

広島に住んでいる親しい友人より、一年振りに電話があり「肺がんの手術をしたんよ！右の肺は三つに分かれている上と下を取ったの、退院してゴロ／＼してるんよ」。おどろきました。ひのきしんに参加したいと思いつ、家庭の都合もあり迷っていた

矢先だったので、何

が何んでもおちば

に帰らせていた

ゞきたいと心を

決めました。「心

定めが第一」と

聞かせていたゞい

ておりますがその通

りに動き出すのが不思議

でした。上下分教会のワゴン車で日帰

りと決まり山野季彦、ふみこさんの運転で六名お

つれいたゞきました。第一声は「みんないゝ子で

いきませうネ」でした。平均年齢七十才前後の元

気なおばあさんです。八十六才になられ足の痛い

方も「心定めをしたら痛みがスーととれたんよ！」

とのこと、車中は昔話に花が咲き、日帰など想



像も出来なかった五十年前を思い出し、なつかしみました。高令でもひのきしんに参加出来、自分が難儀不自由の中でもなんとか人様によるこんでいたゞきたいという気持の持主ばかり。それぞれならん中を出て来られたんだと痛感いたしました。

早朝出発のときはドンシャ降りでしたのに、きれいに晴れ涼しい風まで吹いてきました。

西礼拝場のおつとめ、ひのきしん現場で行き交う皆さんのほち

きれんばかりの笑顔、

笑顔、杖をたより

の方、腰の曲っ

た方、幼い子ど

も、それ／＼身

の丈に合ったひ

のきしんを精一杯

つとめておられた姿

に感動いたしました。

帰りのバスの中はみんな興奮して「有

難い」の連発でした。混雑する中でも何んとか御

供さんをいたゞいて帰りましたので次の日早速

「機をのがさずおさづけの取り次」とおさそいし

た方々をまわらせていたゞきました。教祖百二十

年祭には元気で是非参拝いたしましうネと約束

いたしました。

## 勇み心に授かったお土産

廣町分教会 宮本 正子

福山委員部では、大型バス二台の心定めをさせて頂いたところ大人七十七名と少年会員十四名の満席の御守護を頂き、バス以外ではマイクロバス一台とワゴン車や新幹線で参加して下さい、どの委員部も、なんとか一人でも多く参加して頂くとう心一つにつとめさせて頂いたお陰で、喜び一杯の嬉しいお地場帰りとなりました。広町委員部としては、教祖へのお土産を、二つ授り、勿体ない団参となりました。一つは、布教所の奥さんが、身上危いところを、二度、三度と結構に、御守護頂かれ、こつくと新しい晒で、雑巾を五十五枚も縫って持って来て下さいましたので、それを御供えさせて頂きました。又この日に合わせて、初席を運んで下さる方を御守護頂き、重ねて喜びばせて頂き、教祖から、素晴らしいごほうびをいただいた思いで、感激しています。又、婦人会の先輩の方々が、昔の団参の様に、歌を歌いながら楽しく参拝させて頂こうとの提案を頂いたので、お道の歌集を作成してもらい、会員、一人一人の思いを添えて歌いながら、あつという間に、お地場近くに来ていましたが、事故車があり、渋滞に巻き込まれて、十二時のお勤めに間に合わなくなり

ましたが、別席は、運ばせて頂く事が、出来て、有難い事でした。十二時より四十五分程遅れて乗降場に着いたのに、『今お勤めが、始まったばかりよ。』と聞き、笠岡支部長様はじめ、皆様方の暖かいお心にふれ、胸が、熱くなるのを覚ええました。又、ひのきしん現場へ着くと、支部長様が、優しく迎えて下さいました。二日間のどしゃ降りの雨で、足元がぬかるんでいるのではと、案じていましたら、なんと、しっかり乾いていて、びっくりしました。他の大教会の方々も、すでに、大勢ひのきしんされており、皆さんの勇んだ笑顔に出合い、私達も勇まらずにおれない奮闘気で、喜びの汗を流させてもらいました。事故もなく、無事帰らせて頂き、一同心から喜びばせて頂きました。

教祖百二十年祭三年千日半ばと、なりましたが、団参から帰ってすぐ、教区婦人会総会があり、大勢参拝して頂ける様、あちこちへ、声を、かけさせて頂き、皆様方の大きなお力添えを頂いて、盛大に勤めさせて頂くことが出来ました。続いて子供お地場帰りも、もうすぐで、その募集に歩かせて頂いています。人の御守護を頂けた喜び、本当に素晴らしい団参となり、行事の多い事に不足を、聞く中に、本当に、匂いがけに歩く時間の少ない事に申し訳なく思う反面、いつも神様の御用をさせて頂いているのだから、自分の精一杯を心こめ



て、こつくと勤めさせて頂いておれば、又いつかどこかで、素晴らしい楽しい芽を、出させて頂くことが、出来ると、信じ、勇んで足を運ばせて頂きます。有難うございました。

# 意・義・ある 婦人会伏せ込みのきしん

東水島分教会 藤本 知加子

一緒に行きましょねと約束していたSさんが前日に教会に参拝に来られました。その顔はとても明るく、すっきりとした表情でした。

「今日、明日のこと断りに来たけど、そこでYさんに会って、勇んだYさん見たら、Yさんが行くんなら私も行かじゃあと思っただわ。」Sさんは、ご主人の、また自身の体調も悪く事情も重なって少し気落ちしているところでした。Yさんは、彼女もまた体調が悪く、早朝出発のこのバスに乗り



込むことは、普段なら考えられないことなのです。でもYさんはこういうことになると、神様の元へ帰らせてもらうのだからと、勇んで下さる方なのです。

当日、二人は並んで座り、色々とお道の話しを語り合っておられました。

信仰していても立ち止まったり、振り向いてしまうこともある。そういう時、仲間同士励まし合っていて、また神様の方へ向いて歩いていける。語り合って、勇まし合える。なんか、すばらしいなあ、嬉しいなあと、二人の姿を横目で見ながら私は、ああ親神様、有難うございますと、心の中で手を合わせたのでした。

私は、今回決意して参加させて頂きました。

。信者さん一人一人に成り代り、土持ちをさせて頂こう！

。使える時間は全部ギリギリまで使おう！でも限られた時間、両手でバケツの土を運んでも12回しかできませんでした。2×12＝24、信者さん全員の代理は無理でした。

そこで、また私は親神様に手を合わせたのです。親神様ごめんなさい。バケツ一杯信者さん一人を、バケツ一杯一家庭に変更します。と。

私の住む倉敷では、午前中は雷も鳴り響く大雨だったとか。そんな中でも、おちばでは少し雨も

パラパラしましたが、いいお天気の中、いい汗を流させて頂きました。

その後、我が教会でも、信者さんの上に、身上、事情とみせて頂いておりますが、今回の「伏せ込みのきしん」。この「伏せ込み」に大いなる意味が込められているのだなあ。と、しみじみと思いつつ、この頃、元気に動かさせて頂いていま

ああ、親神様、有難うございます！！

合掌



## 実践項目集計 (5月)

百万軒にをいがけ	66,861軒
おさづけのお取次	4,766回
身上事情お願い	924件
提出教会	121ヶ所

# 青年会 伏せ込みひのきしん & 別席団参

去る6月27日、昨年を上回る100名近い参加者を頂き、伏せ込みひのきしん及び別席団参を行わせて頂きました。

募集の要項に書かせて頂きました通り、少年会本部には早い段階からフロート関係で笠岡分会全員が一カ所でひのきしんをさせて頂きたいとお願ひ致しておりましたが、残念ながら作業の進捗状況等の関係上、3カ所の現場(フロート制作現場、餅焼き場、装飾事務所)に分かれてのひのきしんとなりました。

当日は朝8時に詰所玄関に集合し、少年会本部の先生よりお言葉を頂戴した後、ブロックごとに各ひのきしん現場に向かい、真夏を思わせる陽気の中、それぞれの現場で皆真剣にひのきしんに当たらせて頂きました。

昼食は少年会本部のご配慮で第一食堂カレーを頂き、午後2時頃まで作業、各現場ごとの解散となりました。

最後に、非常に短い時間の作業ではありましたが、少年会本部より「この時期に100名近いひのきしんはこどもおちばがえりが迫る中で非常にありがたいです。」とお言葉を頂いたことを付記しておきます。

(笠岡分会委員 藤本晴司)

## 初席者を連れて団参へ

久松分教会 中村真人

今回、ひのきしん団参に参加させて頂きましたが、その中でも今回は初席をはこんでいただける方のお世話をさせて頂ける事になりました。

その人は同じ職場で働く人で、何年も勤めている人でしたがお道とはまったくつながりのない人でした。でも1・2年前から体の調子をくずし、たびたび仕事を休むようになり普通の生活もできなくなっていた時、会社の上司である人から「神様の話を聞いてみないか」と勧められ、神様の話を聞いていただけるようになりました。初めは話も真剣に聞いていただき、教会にも足を運んでいただけなのですが、すぐに足はとおのいてしまい、神様の話も聞いていただけなくなりました。でもすぐに身上となってあらわれ今度は心定めをしていただき教会には毎月足を運んでいただけるよう

になりました。次はおちば、と今回のひのきしん団参の前に初めておちばに足を運んでいただき基礎講座を受けていただきました。そして今回のひのきしん団参でも早く参加いただき、午前中はみんなといっしょにひのきしんで汗をながし、午後から別席を受けていただきました。

今回団参に参加させて頂きいろいろいな経験ができてよかったと思います。ねがわくばまた別席者をつれておちばに帰れるようがんばりたいと思います。

## たすかるという自信から

海松ヶ岡分教会 森本正典

どうすれば、この旬に前進できるか? 何を改善すればよいのか? 批判を恐れないか? 私は間違っていないのだろうか? と暗中模索をダラダラとしているうちに、青年会の伏込団参の日程がせまる。

気が付くと6月20日の青年会の例会日。手みやげのないまま、会室へと足を運ぶ。

皆、何を思い、どのような結果を持ち寄ったのか。こちらからは何も問う事ができず、人の発言に耳を傾けるのが精一杯でした。やがて、例会が終盤をむかえる頃、若き熱き2名に心を打たれま

した。「初席者2名!!」この言葉だけが、大勢の会話の中にかび上がった。

皆、息をのみ、少しおくれて拍手がわいた。「ようやくやった!!すごいやないか。」との委員長の言葉に、皆、声をつまらせていた。

私は、その時、自分自身に、強く「さあ立ち上がれ!!失敗を恐れず、前へ出るんだ!!」と言いつつ聞かせていました。

次の日、職場で、きらわれる事を恐れず、若い男性に「あなたは、今、幸せですか? 今、色々悩みがあるのなら、おちばという所へ行つて、黒い門をくぐらせてもらいませんか?」と、正直な気持ちを伝えていました。

はじめは、断りを言っていた彼に、私の誤った過去の生き方を話し、他に、助かった人もいるという事を話しました。すると、話を途中で切るかのように、「行かせて下さい!! 私も変わりたい!! 助かりたい!!」と、切なる思いを聞かせてくれました。

何がどうさせるでもなく、心に、神様が働きかけて下さったと確信しました。そして、彼の前で、私は四拍手をくり返していました。

「ご守護じゃ!!」と思い、涙をこらえるのがやっとという所へ、旧友から、おどろく電話がかかってきたのです。「半年前に、天理へ行こうって言ってたでしょ。いつ頃ならいいんですか?」との事。

涙のあふれるのをかくしながら、人気のない所へかくれ、泣きました。

まさに、お働きに違いないと感じ、おちばへの道中、私の全てを話そう、良い事・悪い事、色々あるけれど、助けたいという思いを、そこから感じてもらうと思いました。

はじを乗りこえ、一言、話しをする勇氣から、全てが動き出すという事、私は、それを例会のあの若き熱き2人に学んだ気がします。

私よりも、明らかに若い彼らが、どんどんと、がんばるすがたを見て、「ああ、私も笠岡でよかった。」と思う今日この頃です。

笠岡青年会員の皆さん、どうか、あの2人の様に、どんな逆境にも立ち向かう心を忘れず、勇んで、この句を通りぬけて下さい。——必ず、助かるのですから。



## ・原・稿・募・集・

### 内 容

- ①小随筆、②教会・布教所の独自の活動の紹介、  
③俳句・和歌・川柳、④教会行事開催後の報告記事 等々

### 字 数

1000字前後(800字~1200字)  
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。  
俳句等は1句からでも結構です。

### 寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。





### 歴史香る街道を越えて

明石市分教会長 杉原博之

輝華分教会のをいがけ・おたすけ実修会に行  
くことになりました。

何分自教会の明石から行き先の岐阜は遠く離れ  
ているので不安で一杯です。全くの方向音痴で、  
目も悪いのです。

大教会で相談しますとパソコンで行く先を検索  
して地図をプリントアウトして頂いた。

駅から歩いて10分、小学生でも行けるやんか。  
大元氣になって……。それに遠方へ参るのは何だ  
か嬉しいワクワクする気持ちにもなりま

す。電車に乗って知らない所へ一人旅  
も悪くありません。「いんねんよせて  
しうごふする」と神様仰る。どんな方  
達とお会いできるかとの楽しみもあり  
ます。

後の不安は「おつとめ」のお話しが  
ちゃんと出来るのかなあ？とのことだけ。



何せ大心配性の性格で、加えて恥をかきたくない  
高慢。慌てて真柱様の訓話集や、大教会長様の要  
員研修会テキストから、おつとめの勉強を始める。  
どうして日々に教理を身に付けていけないのか、  
通っていないのか、今から繰り言を言っても遅い  
のです。

しかし「窮すれば通ず」と言うか、適切な例え  
ではありませんが、いざとなると開き直る性格で  
もあります。そうなったら恥をかくのも何のその  
……。唯、有意義な時をつぶしてしまうのが怖い。  
そうならないように……。

6月6日、早朝5時22分の一番電車にて出発。  
電車の車窓、通り過ぎる風景、駅名に感激しま  
した。近江八幡の広大な田……。此処は近江米が有  
名とのこと。既に整然と稲が植えられています。  
安土、彦根、関ヶ原との駅名。織田信長の安土城、  
井伊直弼は彦根城やったかなあ？関ヶ原は勿論天  
下分け目の戦い……。頭の中はタイムスリップして

戦国時代をさまよいます。旅情深まって

いい気分。ああ、要員は有り難いなあ。

しかし岐阜駅に着いて現実に引き戻さ  
れました。広大な岐阜駅に驚き、出口  
を間違え、道を一本間違え……。雨の  
中、やっと教会の門の前に立ったとき  
は嬉しかったなあ。10分どころか25分  
かかった。誰にも真似は出来ないでしょう。

恥ずかしいね。

心優しい皆様に迎えて頂き、お話しも精一杯勤  
めました。大教会長様の研修会への御思いを一  
端でも伝えさせて頂いたかと自問しています。

続いて、雨のあがった町中にそれぞれをいが  
け。私は教会奥様が同道して頂き、お道の兄弟姉  
妹共々に勇ませて頂きました。帰って和気あいあ  
いの練り合い。暖かい雰囲気の中では開き直るこ  
とも有りません。共々に勉強させて頂き、大役を  
終えさせて頂きました。

親神様、教祖有り難うございます。輝華の皆様  
有り難うございます。



### 神の守護

詰所勤務者 上原澄雄

私の小学校の頃でした。町役場の前を通って寺  
町の方へまがる道だった。突然屋根瓦が上から  
降って来ました。まわりは瓦で一ぱいになりました。  
道行く人が「子どもが。子どもが。」という

ばかりで何もできる状態ではなかった。でもかすり傷一つ受けませんでした。

先日も、大きな道での出来事です。夜九時頃、自転車で詰所に帰る途中、自転車灯をつけて走っているのに乗用車がどんどん近づいて来ます。私はよけてくれると思ってペダルをふんでいると、なおも近づいて来ます。あわや衝突というところで、車をとめておりました。と自動車もとまってくれました。

本当に紙一重のところでした。あのまゝだったから轢き逃げされても当然でした。これは一寸した、助けられた話です。帰宅した時に電話がかかって来た。家に入った途端にどしゃ降りの雨。考えてみますと、これは、すべて親神様の守護です。毎日一日たりとも休まずお助け下さっている神様のお働きのためものです。以前はこれであたりまえ。運がよかったと思うだけの事でした。現在は神様の守護をつくづく感じ思わせて貰っています。



即ち感謝という心の働きができて来ました。感謝は喜びにかわります。この喜びは心を陽気にしてくれ何かしたい。神様への御恩報じにかわります。でも毎日都合のよいことばかりではありません。「心通りに守護して下さい」との事です。計画やらやりたい事人様のためにさせて貰いたい事等思うようにいかない事がたくさんあります。ついつい不足し、ストレスのたまることがあります。私はこれも神の守護の一つだと思っています。

こんな時には「教祖ならどうされるか。」ということをよく聞かれます。都合よくいかない時は、「神様がさせるな、もっとおちついて、相手方の事もよく考えて、実行しなさい。」と言われているんだと思うようにしています。まことにプリミティブな、逃避的な思考だと思われるかも。でもこうすることで解決し心が晴れることがあります。身上・事情の道の華、この世すべて神の体、人間は神のふところ住いです。神様にすべてをまかして楽しく生かして頂く事が損得なしの極楽の生き方だと思っています。どこにでも、いつ

でも神の守護があり、守られているのだと感じさせて頂けることが嬉しくもあります。年祭も何回も経験しましたが、この度ほどいろいろ感じさせられ反省したことはありません。これも成人の旬の賜たまひでしょう。十の徳積みも一つの不足で帳消しです。毎日を感謝と喜びでござらせて頂いています。

## こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌七月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「力」、撰五十五句中、笠岡に繋がる教友の方一名、一句が見事撰ばれ掲載されましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

秀 詠 東悠分教会長夫人 田 林 美智子

おしみなく持てる力で人だすけ

▼呉市・東濱十三雄さん(福順分教会長)よりの寄稿です。昔のうた

海の日と聞いてなつかし 長浜の  
五十年前の 汐の香が

紫の不気味な雲が おしよせて

あれから五十九年目の夏

一切のふかした茅に想い出す

焼野ヶ原の 三角兵舎

## 六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には「月日より日々心いさめかけよふきつくめにしてかゝるでな」と子供かわいい一条の親心のまに  
く天然自然のお働きやかしものかりものの自由の御守護をお与え下さって陽気ぐらしへとお育てお導き下さいま  
す事は誠に有り難く勿体ない極みでございます。しかるに親神様のお働きを知らずにいる人の中には総て我が力と  
過信するばかりでなく感謝の気持ちさえ失い我身勝手手の陽気に明け暮れる人が少なからずいたします誠に申し訳  
なく先んじてこのお道にお引き寄せ頂いた私共は日々報恩感謝の心一杯に朝夕に御礼申し上げますと共に未だ真実の  
親心による御守護、お働きを知らぬ人々に少しでも伝えたいものとたすけ一条の御用の上にお勤め励まして頂いてお  
ります

その中にも今日の吉日はこれの笠岡の名称にお許し下された六月の月次祭を執り行う定めの日柄でございますの  
で只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます  
御前には大型台風接近の大変厳しいさ中に関わりませす今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達の真実の状  
を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて立教百六十七年の今年も早や上半期を終えようとしています。改めて年頭の心定めに思いを致し素直に上半  
期を振り返り反省した上で下半期を勤めるに当たり心定め完遂を目指し実践項目を含めての実動に邁進させて頂く  
所存でございます。その為にも仕切月にふさわしく心も仕切直してつとめさせて頂きたく存じます

又来月には子供おちば帰りが開催されます。年祭のこの旬一人でも多くの子供達の歓声をお聞き頂いて教祖にお  
喜び頂けるよう本日は縦の伝道講習会を開催させて頂き心を一つに揃えて実践項目の一環として募集の上にも尚一  
層力を注いでいく覚悟でございます

何卒親神様には旬々にお与え頂く節目を生かしつつ成人の道を歩む皆の誠真実の心をお受取り下さいまして方た  
すけの上にも自由の御守護を賜り一人でも多くの人をこの道にお引き寄せ下さいまして年祭の年に賑やかなおち  
ばの姿をお見せ頂きますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

## 大教会だより

### ◎直属ひのきしん

自 立教167年7月1日  
至 立教167年7月25日  
海松ヶ岡 宮崎 智 司

### ◎本部食堂ひのきしん

自 立教167年7月15日  
至 立教167年7月31日  
出雲 高島直道



## 計 報

### 杉原正夫氏

大教会承事  
明石市分教会前会長  
六月三十日出直されました。  
享年 八十九才

# 教会別人づくり一覧表 (立教167年1月1日より 立教167年6月30日まで)

名称		初	授	修	講前	講後	名称		初	授	修	講前	講後	名称		初	授	修	講前	講後
笠	岡山		2				福	中						龜	山	5	1	1		
福	山	5		1			福	土		1				田	津					
高	屋	1	2				福	東			1			天	場	1				
神	邊						福	山						簸	ノ		1			1
島	根	1					福	南						多	古			1		
久	松						福	順						瑞	北		1		1	
鶴	山	3	1				福	節						雲	東					
弥	山						福	備						神	村					
高	備	1					福	輝						呉	中					
陽	耶							生	1					江	橋	1				
摩	浦	3					坪	尋						大	治					
金	明						八	安						品	福					
興	と						深	尋						久	津					
ひろ	山	2	1	1			笠	品						呉	福					
さ	井						芦	那							津					
陶	照	1					安	川						鶴	南	4	1	1	1	
芳	岡	1					芦	郡						川	眞					
呉	悠	1					三	常						島	郷					
海	江	1					芦	辺						鴨	方					
松	陽	1	1				加	茂	1	3				作	備					
ケ	濃						芦	陽						輝	華					
東	邑	1					芦	實						錦	原					
吸	部	1	1	1	1		惠	野						ケ						
照	市						陽	華		2				行	藤					
輝	下	1					御	金			1			眞	府	1				
美	中						香	條						吉	舍					
新	城	1	3				眞	倉	4	1	1			清	嶽					
上	部						仲	瀨						上	島					
府	中	2					稻	土	1	1				木	和					
東	家						稻	讚						國	須					
服	木						稻	港	1	1				上	野					
島	陽						門	山	1	1				上	備					
驛	原						大	島						河	佐	2				
油	中						東	出						上	邊					
葦	昭						高	雲						川	井					
湯	郷		1					雲						木	父					
備	備							川						津	行					
神	之							洋						阿	戸					
美								府						宇	面					
錦								濱						河	鮮					
								伯						府	庄					
								美						府	原					
								仙						世						
								雲						神	驛					
								伯						葦	免					
								都						合	沼					
								島							計	56	37	12	9	0



## 第 7 6 1 期 修 養 科 募 集 要 項

**\* 修養科期間**

立教167年9月1日～11月27日

**\* 教 養 掛**

3ヶ月間 谷 内 伸 自 (大教会役員・輝美濃分教会長)  
 1ヶ月目 今 川 昌 彦 (大教会役員)  
 2ヶ月目 高 島 寛 (海潮川分教会長)  
 3ヶ月目 宮 本 泰 徳 (廣 町 分教会長)

**\* 募集要項**

- ・ 志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・ 8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・ 3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日の昼食後に解散。

**\* 教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

**\* 参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

**\* 携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

**\* 服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合わせて行なう。
本 部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		
大教会 御供	○		・願書に日付を入れない事。
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」または「戸籍抄本」		○	・「戸籍記載事項証明書」、「身分証明書」でもよい。



## ◆直属ひのきしん特別隊

**【期 間】** 8月6日(金)～20日(金)  
**【対 象】** 60歳までの男子よふぼく1名

## ◆直属ひのきしん5日隊(第5次隊)

**【期 間】** 8月11日(水)～15日(日)  
**【割 当】** 直轄1=5名、直轄2=4名、福山=5名、高屋=6名、  
 島根=5名、久松=2名、上下・府中市=4名(計31名)。  
**【参加御供】** 3,000円

## ◆英語講習会

**【期 間】** 8月22日(日)午前10時 受付  
 ～24日(火)午後2時頃 解散  
**【受講対象】** 中学一年生以上～高校・大学生・一般。  
**【受講御供】** 2,500円。  
**【持 参 品】** 英和・和英辞典、筆記具、着替え、洗面具。  
**【プログラム】** パソコンを使った英語の学習、英会話、おつとめ、レクチャー、ひのきしん  
**【お問合せ】** 詳細は、スタッフの香取雅人☎(086-528-0850)、吉岡誠一郎☎(086-282-0550)へ  
 (ご連絡下されば、JR大門駅まで送迎致します)

## ◆青年会新入会員研修会

少年会から青年会へとスムーズに移行してもらいたいとの思いからの開催です。中学を卒業した若者を対象に、少年会キャンプのスタッフとして参加してもらい、“してもらつ立場”から“してあげる立場”に成人していくことを目指します。

**【詳 細】** 下記少年会笠岡団夏季練成会(サマーキャンプ)に同じ

## ◆少年会笠岡団夏季練成会(サマーキャンプ)

**【と き】** 8月22日(日)～8月24日(火) 2泊3日  
**【と ころ】** 島根県浜田市 石見海浜公園キャンプ場  
**【内 容】** キャンプファイヤー、野外ゲーム、海水浴他  
**【対 象】** 小学校3年～中学校3年 高校生は係員  
**【定 員】** 50名  
**【参加御供】** 3,000円(米2合と野菜1品)  
**【申し込み】** 8月18日までに各ブロック委員までどうぞ

## ◆にをいがけ・おたすけ実修会 要員研修会

**【日 時】** 8月29日(日) 8:30 受付、 8:45 開講、 12:40 閉講  
**【場 所】** 笠岡大教会  
**【講 師】** 布教部 布教二課 講師陣(数名)  
**【内 容】** 『にをいがけドリル』  
**【対 象】** 実修会要員  
**【持 参 品】** ハッピー、筆記具

## ◆青年会全分会布教推進週間

**【期 間】** 8月29日(日)～9月5日(日)  
 \*例年通り全分会にて布教推進の活動を計画していただきたいと存じます。  
 尚、今年は加えて各ブロックごとで布教を啓蒙するような活動を行う予定です。  
 単一分会での活動が困難な場合、ブロック行事には必ずご参加下さい。  
 \*詳細については各ブロック担当者にお尋ね下さい。

## ◆立教167年 全教一斉においがけでー

【一斉活動日】 9月28日(火)、29日(水)、30日(木)  
9月はにをいがけ強調の月です

\*全家庭へにをいがけ

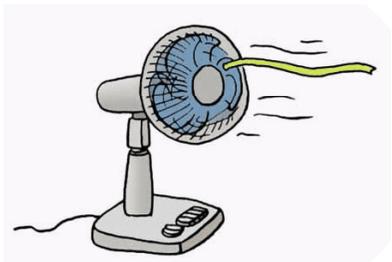
- ①支部より割り当てられた地域に対して、一斉活動日を除く日に、教会独自で計画を立て、責任をもってリーフレットの完全配布をさせていただきます。
- ②教会長は一斉活動日に、一人でも多くのよふぼくを連れて参加させていただきます。
- ③遠隔のよふぼくには、地域での一斉活動日への参加を強力に呼び掛けて下さい(リーフレットを教会から送付する)。

## ◆学生の集い

【日 時】 9月23日(木) 10時 開講、16時 閉講  
【場 所】 笠岡大教会  
【対 象】 高校生以上  
【参加御供】 500円

## ◆各行事に参加ご希望の方は、

各ブロックの担当者にお申し込みください



紹介をして、更にその賛同と継続を仰いだ。そうして毎晩のように教会で「あらかとうりょう」の本筋？を実践した。特に楽しかったのは「御神酒」を戴いて深夜まで本音で語り合い、前の田圃の稲に肥や

先般、青年会島根ブロック総会が開催された。総会と聞いてふと振り返ってみた。それは、上級会長の突然の「出直し」で始まった。  
上級分会で「九人乗りの新車購入」と言う「節の芽」分会員相互が各々で負担する36回払い。購入計画や運用方法を話し合い、各会員家庭へ「賛同の根回し」に回って目標達成した。その後挫折しそうに成った事、スピーカーで路傍公演、お地場への運転などを、会報で次々と活動



した。そこだけが大豊作で、作主が首をかけたこと？そしてその集大成として「青年・女子・少年会合同総会」をご守護頂いた。  
そんな折「こどもおちばがえり」島根合同隊が始まり、青年会員で練成会等を重ね毎年続いた。上級で大型バス2台の実績樹立した事が、今、自教会の「こどもおちばがえり団体」に反映している。当時の青年会員が教会長や重鎮になった今、参加した少年会員が今の青年会の中核である。総会に近い頃、その支援の要請を受けたOB仲間が燃えた。模擬店、ロックバンドステージ・垂幕やポップにと、青年会と「一手一つ」で実施した成果は165名の盛況な参加者。青年会も立派な「おつとめ」を供えた。百二十年祭への轟音を聞いた近くの中・高校生達が教会の庭に集結した。良くぞ集まった総会。「老人は過去を語り。若者は未来を語る」と云う老理事先生の名言に、私自身が過去を語る年齢に成ったと云うことなのか？与えていただいた本文がそれを証明する事になった。